

# Kuki



市民と市政をつなぐ情報紙



広報くき

12

2023 (令和5年)

No.273



健康体操を行う学生  
(高齢者大学講義 体力を知ろう)

## まなびすとになろう!



野草の説明を聞く学生  
(市民大学講義 久喜の野草)



# 🕒 1日の流れ *Schedule*

- 8:30 ~ **開館**
- 8:40 ~ **出欠確認**
- 9:00 ~ **音楽・民謡の指導等**
- 9:40 ~ **休憩**
- 9:50 ~ **講義等**
- 11:10 ~ **連絡・ホームルーム**
- 11:50 ~ **解散**

主な活動日  
月・水・金曜日 ※その他の活動は別日、別時間帯

主な活動場所  
生涯学習施設「まなびすポット」(鷲宮総合支所5階)

これまでの卒業生  
なんと...約4,300人!

### 垣根を超えて つながる輪

活動は講座だけではありません。体育祭などの行事は、企画段階から学生が主体となって作り上げていきます。準備期間から仲間と協力し、講座だけでは築けない「つながり」ができていきます。

学生の有志により、やりたいことをクラブとして立ち上げ、クラスや学年の垣根を越えて、さらに仲間の輪が広がっていくといえます。

喜ぶ学生たちの笑顔であふれる高齢者大学は、「スマイルキャンパス」とも呼ばれています。



◀体育祭

▼グラウンドゴルフ大会



久喜市ゆかりの作家 中島敦



◀歴史や文学などの一般教養▲



食生活と体力づくり

▲健康や介護など実生活で使える知識▶



体力を知ろう



天王山塚古墳



本多静六記念館



自然学習センター



甘棠院



さぎたま史跡の博物館

▲体験して学ぶ 現地研修



スマキャン君

## こんなに友達ができると思わなかった



高齢者大学4年生  
なかむらこういち  
中村剛市さん

定年を迎え、家で過ごすよりも、仲間づくりをしたい、何かを見つけないかと思い、入学しました。

行事の全てが学生たちの手作り。右も左も分からない中、先輩の助けを借りながら、仲間と協力して成功させたことは、今も印象に残っています。

あと少しで卒業してしまふので本当に寂しいです。クラスの集まりやクラブ活動など、卒業後も仲間と活動することを計画しています。

ぜひ皆さんにも入学して楽しさを知ってほしいです。



高齢者大学4年生  
いおみつよし  
井尾光義さん

引越してきた久喜で友達づくりをしたいと思い、入学しました。

大学での行事は学生自ら行うことが多く、入学した当初は驚くことも多かったですが、みんなと成し遂げていくことの良さや、仲間とのつながりを感じることで、感慨深く思います。

卒業した後も、クラブ活動や校友会への参加、クラスのみんなで集まるなど、つながりが続けていきたいです。

高大は友達づくりができる、とても良いところですよ。

## 在校生の声

## 指導員の声



社会教育指導員  
かんだこういちろう  
神田耕一郎さん(左)  
むらたふみお  
村田文雄さん(右)

## つながる心の絆

他の高齢者大学には見られない4年制で、講義だけでなく行事にもみんなが主体的に取り組みからこそ、仲間とのつながりが深まるんだと思います。

生涯の友ができる場所です。入学をお待ちしています!

学生たちからも愛される、高齢者大学(スマイルキャンパス)のマスコットキャラクター  
村田指導員考案、神田指導員作画のオリジナルキャラクターです。

スマキャン君



# まなびすとになるろう!

「人生100年時代」といわれ、生涯学習の重要性が高まっている現代。市では生涯学習活動の場として、久喜市高齢者大学・久喜市市民大学を開設しています。皆さんも仲間と絆を深めながら「まなびすと」になってみませんか?

ひとことメモ

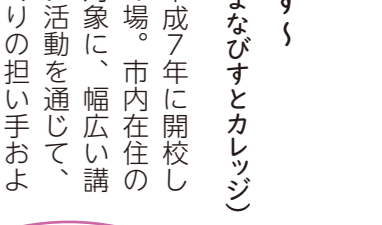
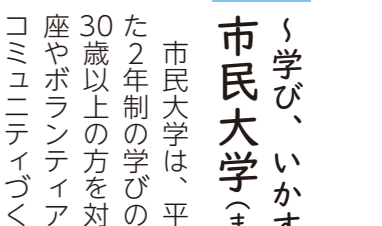
## まなびすとは...

久喜市で生涯学習をする人の総称をいいます。

# 高齢者大学 ~スマイルキャンパス~



# 市民大学 ～まなびすとカレッジ～



久喜市の歴史や自然風土



久喜の野草

菅蒲の遺跡・文化財

防災

ごみ問題

学びが深まる現地研修



利根川東遷



合同ワークショップ



学んだことをワークショップで話し合う



地域におけるボランティア活動



歳末助け合い募金活動



下水道処理

## 在校生の声

気づきをもたらえた

市民大学2年生  
おおしまとしゆき  
大島敏行さん



長年住んでいながら、久喜についてよく知らず、このまちについて学んでみたいと思い、入学しました。同期生と出会えたことや、現地で文化・歴史に触れ、書物だけでは学べないものを得られたことは、本当に良い経験になりました。卒業後はさらに、高齢者大学で違う学びを得たり、もっと自分の可能性を広げていきたいですね。仲間とともに学ぶことで、新たな気づきや出会いを見つめられるので、ぜひ市民大学で学んでほしいです。

## 指導員の声

ひとつ光るものを見つけてほしい

社会教育指導員  
つばいふみお  
坪井文夫さん



皆さん、とても一生懸命講座に参加し学ばれていますね。熱心な姿に、本当に感心します。久喜市の市民大学では、興味のあることを見つめる環境が整っており、そこから自分が地域にどう貢献しているかを考えることができます。ご自身に出来ること、興味のある分野で、地域での活躍を期待しています。

✓ 試しにチェック  
あなたはどんな“まなびすと”？

<input checked="" type="checkbox"/> 友達を作りたい！ 仲間がほしい！	<input type="checkbox"/> 文化や歴史など久喜について学びたい！
<input type="checkbox"/> 人と楽しく過ごしたい！	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の経験を地域にいかしたい！
<input type="checkbox"/> 楽しみながら学びたい！ etc...	<input type="checkbox"/> 自分にできることで地域に貢献したい！ etc...

↓ ↓

高齢者大学へ！      市民大学へ！

🕒 1日の流れ Schedule

- 18:30 ~ ● OPEN 開館
- 18:40 ~ ● 出欠確認
- 19:00 ~ ● 講義等
- 20:40 ~ ● 連絡・ホームルーム
- 21:00 ~ ● 解散

主な活動日  
1年生：金・土・日曜日    2年生：水・土・日曜日  
※土・日曜日は9時30分～11時30分  
または13時30分～15時30分

主な活動場所  
生涯学習施設「まなびすポット」(鷲宮総合支所5階)

「学び、いかす」  
市民大学（まなびすとカレッジ）

市民大学は、平成7年に開校した2年制の学びの場。市内在住の30歳以上の方を対象に、幅広い講座やボランティア活動を通じて、コミュニケーションの担い手およびリーダーの育成を目的としています。

日中働いている方、現在も地域で活躍されている方も通われており、「地域のために活躍したい」「さらに学びを重ねたい」などの思いから『まなびすと』『デビュー』をしています。

講座の種類は多種多様。久喜市のことを多方面から学ぶことができ、併せて、ボランティアを通じて地域コミュニケーションづくりについて学ぶ講座もあります。

さまざまな分野の中から学生自身がどんなことに興味があるか、講座を通じて見つけることが市民大学の『まなびすと』への第一歩。そこから、自分に何ができるか、どう地域にいかせるかを考えていくことにつながっていきます。

また、仲間の考えや意見から刺激をもらい、互いに成長できることも市民大学の魅力です。

自分の興味探しから仲間とともに

令和6年度

### 学生募集について

令和6年度高齢者大学・市民大学入学希望者を募集します。

費 高齢者大学 2,000円/年、市民大学 9,000円/年

対 令和6年4月1日現在、高齢者大学は60歳以上、市民大学は30歳以上の市内在住者

申問 1月9日(火)～3月15日(金)に、電子申請・直接・電話・はがき・FAX・メールで、生涯学習課生涯学習係（〒340-0295/☎31-9550/✉shogaigakushu@city.kuki.lg.jp/📠内線214・215）へ

※詳細は広報くき1月号に掲載します。

あなたもまなびすと体験！

オープン高大（合同教養講座）

📅 1月29日(月) 13時30分～15時

📍 栗橋文化会館 文化ホール 定 30人（申込順）

📄 1月15日(月)～26日(金)に、電子申請・直接・電話・メールで、生涯学習課生涯学習係へ

生涯学習推進大会「まなびすと久喜」

📅 3月3日(日)

📍 生涯学習施設「まなびすポット」他（鷲宮総合支所 4・5階）

📄 イベント発表会、イベント展示等

ひとことメモ

鷲宮総合支所5階にスポットをあてた、まなびすとの学び舎

活躍する卒業生

市民大学の卒業生は多方面で活躍しており、例えば、放課後子ども教室の指導者や観光ボランティア、民生委員・児童委員など、自分の興味のある分野や、自分にできることで地域に貢献しています。他にも、生涯学習推進部へ参加し、まなびすとフォーラムなど、市民を巻き込んだ地域づくりに取り組む方もいます。

また、学びをさらに深めるために、久喜市市民大学院に進学する方も。大学院で1つのテーマについて追究し、市民大学の講師として活躍する方もおり、次の人材づくりにつながっていくといえます。

活躍するまなびすとを育てる市民大学は、「まなびすとカレッジ」とも呼ばれています。

まなびすポット